

韓国環境部プレスリリース 2020 年 2 月 6 日付

## 京畿道と江原道の野生いのししから ASF ウイルス検出 (野生いのしし 167-169 例目)

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1302655&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は江原道(カンウォンド)華川郡(ファチョングン)華川邑(ファチョンウプ)豊山里(プンサンリ)と華川郡(ファチョングン)上西面(サンソミョン)、京畿道(キョンギド)漣川郡(ヨンチョングン)旺澄面(ワンジンミョン)で発見された野生いのしし死体 3 個体から ASF ウイルスが検出されたと 2 月 6 日明らかにした。

○ 2 月 4 日華川郡華川邑豊山里と上西面で発見された死体 2 個体は環境部捜索チームによって山で発見され、同日漣川郡旺澄面で発見された死体は軍人によって山で発見された。華川郡と漣川郡は野生いのしし ASF 標準行動指針により試料を採取して現場消毒と共に死体を処理した。

□国立環境科学院は 2 月 6 日死体で ASF ウイルスを確診と結果を関係機関に通知した。これで華川郡では 52 件、漣川郡では 48 件の野生いのしし ASF が確診よく全国的には 169 件になった。

□国立環境科学院生物安全研究チーム長は“発見地点周辺で ASF 感染死体がさらに出てくる可能性が高い”として、“徹底した捜索を通じて感染死体を速やかに除去する”と話した。

以上